

## 現代英語演習 I (その2)

2 単位 2 年 (後期)

森岡 芳洋・教授 / 人間文化学科

**【授業目的】** 英語音声学の基礎 [前期] から始め、英語音韻論の初歩 [後期] までを扱うことによって、英語の音体系についての理解を深めるとともに、英語の実際の音声訓練を効果的にするための裏付けを提供することを目的としている。授業を通して、英語という個別言語の音組織は常に日本語のそれと対比・比較されて特徴が一層明らかになるのと同時に、一般音声学・音韻理論の中に位置づけられることになる。

**【授業概要】** 英語音声の理解と演習

**【キーワード】** 超分節要素, 強勢, 抑揚, スペクトログラム, フォルマント

**【先行科目】** 『言語理論研究 I (その1)』 (1.0), 『言語理論研究 I (その2)』 (1.0), 『英米言語研究 II (その1)』 (1.0)

**【関連科目】** 『言語理論研究 I (その1)』 (0.5), 『言語理論研究 I (その2)』 (0.5), 『英米言語研究 II (その1)』 (0.5)

**【履修上の注意】** 実技的演習が部分的に含まれるが、英語の発音を劇的に改善することを意図してはいない。むしろ、言語の音についての理解深化をめざしている。もちろん、理解に基づく発音練習が効率的になることは期待している。

**【到達目標】** 英語の文節音と超文節音に関わる特性を理解し、基本的聞き取りと調音ができること。

**【授業計画】**

1. 後期 (超分節音素中心)
2. 1. 導入
3. 2-3. 音節
4. 4-5. 語強勢
5. 6-7. イントネーション
6. 8-9. 音響音声学
7. 10-11. 聴覚音声学
8. 12-13. リズム
9. 14-15. 音韻理論等
10. 16. まとめ

**【成績評価】** リポート提出等を含む平常点 (30%) と期末試験 (70%) により行う。

**【再試験】** 行う

**【教科書】**

- ◇ 教科書 佐藤寧・佐藤努共著・『現代の英語音声学』・金星堂 1997
- ◇ 参考書 山田恒夫, 他著・『英語リスニング科学的上達法』・講談社 1998

◇ 参考書 山田恒夫, 他著・『英語スピーキング科学的上達法』・講談社 1999

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218578>

**【連絡先】**

⇒ 森岡 (088-656-7122, morioka@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 木曜日 12時50分~ 14時20分)